

つなげ！都市計画道路3・3・7号

～河原塚・紙敷区間整備の進捗と事業スケジュールについて～

以前より議会で指摘をしてきましたが、東京外かく環状道路、北千葉道路、都市計画道路3・3・7号と広域的な道路ネットワークの整備によって機能分

担が図られ、交通の分散による交通渋滞の緩和、移動や輸送の時間短縮に寄与します。また、周辺地域においては、沿道環境の改善、生活道路における交通事故の減少による安全性の向上等の効果も期待されます。

未開通区間が開通すれば、成田、羽田両空港のアクセスが今まで以上によくなり、そこに都市計画道路3・3・7号を接続することによって周辺地区だけではなく東部地区の価値が高まり、工場・企業なども流入し、民間投資、雇用を呼び込むことが期待できます。人、モノの流れが活性化し、松戸市経済への影響は計り知れません。

現在まで、北千葉道路に関しては事業化に向けて、県がアセスメント及び都市計画変更の手続きに着手。また都市計画道路3・3・7号、河原塚、紙敷区間については、3月末日にはとうとう事業認可が取得見込みであり、本年6月に関連4町会や地権者への事業説明会が行われ、最終的には道路用地の買収に着手することとなっています。地域の長年の懸案が前進することに少しほっとしています。



視察先の
宮崎創業サポートセンター

チャレンジする人を応援

～起業を促進するためのインキュベーション施設松戸に誕生！？～

以前からフロンティア精神の高い若者が集まってくるよう分野を問わず新しいビジネスプランを持ってきた人に松戸市内での起業を条件に支援を

行うと共に、コミュニティビジネス・ボランティア・就労支援を強化し、活気あふれる松戸市を目指すことを一つのテーマとしてや議会で活動してきました。今年度松戸ビルを活用した企業育成施策～インキュベーションオフィスの設置の検討がとうとう始まります。4月～6月までに事業者選定・6月～9月運営事業者と打ち合わせ、内装や設備の決定・その後施設利用規約等運営方針の策定、入居事業者の選定を行い、平成31年度までに施設のプレオープンを目指して事業が進んでいきます。この事業が松戸市の活性化の一助となることを願ってやみません。

★鈴木だいすけ プロフィール

昭和53年2月7日生まれ。杖を使えばどこにでもいけるまで回復した父と母(ヨガインストラクター)優しい妻(損保会社勤務)と可愛い長女と歌が上手な長男と河原塚在住！ ●現在

●学歴

東京都立秋川高等学校卒業

(全寮制男子校・3年生の時は寮長を務めた)

明治大学商学部商学科卒業

(三木武夫首相を輩出した明治大学雄弁部所属)

平成22年松戸市市議会議員選挙にて初当選(現在2期目)

松戸市議会議員(2期・平成22年初当選)まつど自民所属

現在松戸市監査委員・健康福祉常任委員など

●地域活動

NPO法人車椅子レクダンス普及会松戸支部会長

松戸自衛隊協力会松戸支部顧問・社会福祉法人松栄会 評議員

第23代グリーンライオンズクラブ会長・河原塚第一町会副会長

松戸だいすき情報発信中!



YouTube

blog



<http://www.suzukidaisuke.jp/>

松戸だいすき

検索



リーダーの政治決断について～サッチャーの言葉を借りて

「If you just set out to be liked, you would be prepared to compromise on anything at any time and you would achieve nothing.」

英国初の女性首相であり強硬な性格から鉄の女と呼ばれたサッチャー首相の言葉です。「好かれようとしているだけなら、いつでも何でも妥協する用意があり、何も達成しないだろう。」という意味になります。

3月定例会では市政における多種多様な問題解決に当たって、何を基準に物事を考え、どんな思いで市政運営にのぞんできたのかまた、今までに成した政治判断、決断についてどう思っているのか市長に問いました。

本郷谷市長の答弁では解決すべき課題の例として、新たな「松戸の顔」となるいわゆる新拠点ゾーン整備構想について一定の道筋をつけてゆくことが課せられた使命だと述べられました。

しかし、であるならば新市庁舎建設を含めた松戸駅周辺まちづくりでいったいいくらかかるのかをハッキリと市民に示したうえで事業を進めていくべきです。思い返してみれば、市長は最初の選挙で「新市立病院は現地建替え 64 億円で可能、東松戸に建設予定であった病院の差額を子育て支援策などに回す」などと公約していました。8年後、実際は、新病院は千駄堀に移転、建設費は 200 億円を超えました。この病院建設議論の過程でも、自身の公約の帳尻をあわせるために病院建替計画検討委員会、今となっては懐かしい構想 8 案の提案、議会からはその額では無理だろうと言われた早く安く約 150 億円で建設費の提案、その後、やはり建設費が足りなくなり建設費はさらに 40 億円以上増え、結果として東松戸に建設するより高額になりました。

病院建設を決断する際にも、再三我が会派が現地の売却が前提と言い続けてきましたが、病院運営審議会を立ち上げ、昨年ようやく現地の「売却が妥当」と答申が出たにもかかわらず、現時点で売却の決定がされておらず、空になった病院を維持するために約 6,000 万円が必要となり、年間の維持費が約 4,000 万円かかり続ける事態になっています。

何かと外部委員会を設置し、そのたびに時間と税金を浪費してきました。本来であれば、勇気をもった決断で進めていけば必要のないコストであったはずで。

昨年 9 月議会での伊勢丹支援策の提案も、賃料の坪単価月額約 28,000 円で公共施設を借りるとの提案でしたが、今回の予算案に計上された旅券事務所を同じ場所に借りるという家賃は、説明によると、半分以下の坪単価月額 12,960 円とのこと。あの案はいったいなんだったのでしょうか。こんな提案ではとても市民の納得が得られないと判断し、本当に責任感をもって伊勢丹と交渉していれば、他にやりようもあったのではないのでしょうか。

「If you just set out to be liked, you would be prepared to compromise on anything at any time and you would achieve nothing.」

市長というのは本当に大きな権限を持っています。だからこそ時には嫌われる勇気を持って決断をして欲しいものです。

でないと・・・松戸市が夕張になってしまいます。

所属する健康福祉常任委員会では健康福祉会館を買い取る契約に関する審議が行われました。20 年間で 50 億円以上支払ってきた賃料、高額な買取り金額、何より以前より再三議会で指摘があったにも関わらず後手後手の対応。

こういったことに対してしっかりと反省をしていただくことを厳しく伝えたくて、現在の利用者や今後の発展的利用の可能性も鑑み、買取りに賛成いたしました。

今後は健康福祉部・福祉長寿部・総合政策部など部課を越えて連携し、市民の理解を得るためにさらなる発展的活用を検討していただくこと、さらには本市諸計画の中にしっかりとこの施設を位置づけ市民福祉の向上のために健康福祉会館を活用していただきたいと思います。



発行人:松戸市議会議員 鈴木だいすけ

〒270-2254

松戸市河原塚354-34 エクセラン東松戸208

TEL & FAX:047-393-8811

